

BBS会会長賞

笑顔を増やすために

最初は、簡単だと思って作文を書くことに立候補しましたが、いざ考えてみると、とても難しいテーマでした。本やインターネットを見てみるも、全然考えがまとまりそうにならず、あきらめてしまうこともありました。ですが、いろいろな人から話を聞くうちに、だんだんとこのテーマが身近なものになってきました。

では、どうやったら社会が明るくなるのでしょうか。犯罪や非行を起こすことで、多くの人が悲しみ、だれかの夢がうばわれます。しかし、その非行少年たちがいなくなればいいという話ではありません。非行少年を減らすには、その子が非行に走る前に出していたSOSに気づいてあげることが、とても大切なのだと私は思います。ですが、そこまでして非行を選んでもう原因とは何なのでしょう。本やインターネットで調べてみると、主に両親の不仲やいじめ、学校生活がつまらないなどの理由が挙げられています。このような問題を一人で解決するには、少し荷が重すぎます。そこで、その負担を減らすために私たちができることはあるのか、考えてみました。いじめや学校生活だったら、悩ん

堺市立 東浅香山小学校 六年

幸地 桃子

でいる子に、そっと寄りそってあげて、はげますことができます。私は、よくストレスがたまったら友達に話を聞いてもらっているのでいつもスッキリした気持ちで毎日を過ごすことができます。しかし、これが家族の話になると、状況はちがってきます。

両親の不仲を解決することは、私たちには困難です。親の代わりに、良い所を探してほめてあげることができませんが、家に帰ったらその子は一人になってしまいます。私は、そのような子が減ることを願っています。お母さんに聞いてみると、各地域に『こども食堂』という場があることを知りました。ここは、親がお仕事で家にいない時でも、一人で入ることができ、栄養満点の温かいごはんを食べられるそうです。もし、このような施設が増えていけば、いろいろな人と関わる機会が生まれ、いつしかその子の緊張も解けていくと思います。しかし、このような施設を作るには、お金が必要になります。つまり、これは社会にしかできないことです。これらの問題は、すぐに解決できません。だからこそ、政治に興味を持ち、本や新聞などで調べてみるのが、大切になっ

てくると思います。

私の夢は、小学校の先生になることです。もし、私が先生になって自分のクラスに非行に走ってしまいそうな子がいたら、ちゃんと向き合ってあげられるように、毎日話かけてあげたいと思います。例えば、その中の三人のうち一人しか笑顔にすることができなかつたとします。ですが、その子の友達関係や家族構成などの背景が見えていないだけで、たくさんの人が関わっています。

その子の兄弟や近所の人も合わせて、約二十五人ぐらいの人が笑顔になっていくのかもしれない。一隅を照らす。一隅とは、今、私たちがいるこの場所。私たちがベストをつくし、光ることで周りを照らすことができます。そして、次は未来の子どもたちが非行について考えることで、社会は明るくなっていくと私は思います。

